

第3章 半音階的和声進行による属7の和音の 「際限のない和声的鎖」

属7の和音のバスとソプラノの半音階的連結により、次のような和声的連鎖が生じる。

この連結は終止感を感じさせることなく永続する。19世紀中頃から末頃にかけてのロマン派全盛期に特徴的な和声進行である。

1

7 + 6 #4 +4 7 + #6 #4 +4 7 + b6 4 +4 7 + 6 4 +4 7 + 6 #4 +4 7 + b6 4 +4 etc.

2

+4 6 4 7 + +4 6 4 7 + 6 5 7 5 3 b6 4 7 + 6 5 +4 b6 4 7 + 6 5 6 5 +6 etc.